

施肥 有機質・土壌改良剤・化学肥料など（購入の場合はメーカー名記入）

<土づくりの使用資材・肥料について>

商品名	原料	メーカー(購入先)	全N%	化成N%	全P%	化成P%	全K%	化成K%	有機率(%)	使用目的	計画				実績			
											使用量	使用時期	回数	化成量kg	使用量	使用時期	回数	化成量kg
産直有機入り8-8-5	産直有機8-8-5		8	2.4	8		5			元肥	460	10月	1	0.0	223	10/25	1	0.0
苦土石灰	苦土石灰									元肥	250	10月	1	0.0	142	10/13	1	0.0
グリーンコンボ	鶏糞									元肥	450	10月	1	0.0	172	10/13	1	0.0

【慣行農法との比較】

*化学肥料

産直分と比較して 当地比	5	削減
化学肥料	窒素使用量 (kg/10a)	
慣行使用量	24	
計画使用量	12	

*節減対象農薬

当地比	5	削減
節減対象農薬	計画回数	地域の慣行防除
土壌消毒剤	0	
除草剤	0	
殺虫剤	0	
殺菌剤	8	
その他薬剤	0	
合計	8	16

病虫害の防除 使用した天然防除資材・自作資材・農薬（成長調整剤、展着剤等を含む）

分類	商品名	原料/成分名	メーカー(購入先)	使用目的	計画					実績					使用回数/10a	
					希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	商品	成分
															使用回数上限	
殺菌	アミスター20フロアブル	アノキシストロピン		べと病・灰色腐敗病	2000	300	1月～4月	1	1	2000	300	1月～4月	1	1	3	3
殺菌	メジャーフロアブル	ピコキシストロピン		べと病・白色腐敗・灰色カビ	2000	300	1月～4月	1	1						3	3
殺菌	ベトファイター顆粒水和剤	シモキサニル・ベンチアバカルブイソプロピ		白色疫病・べと病	2000	300	1月～4月	1	2						3	3,3
殺菌	ホライズンドライフロアブル	シモキサニル・ファモキサド		べと病・白色疫病	2500	300	1月～4月	1	2						3	3,3
殺菌	ザンプロDMフロアブル	アマトクランジ・ジメモルフ		べと病	500～200	300	1月～4月	1	2						3	3,3
殺菌	ジャストフィットフロアブル	フルオピコリド・ベンチアバカルブイソプロピ		白色疫病・べと病	3000	300	1月～4月	1	2						3	3,3
殺菌	ダイナモ顆粒水和剤	アミズルプロム・シモキサニル		べと病	2000	300	1月～4月	1	2						3	3,3
殺菌	リライアブルフロアブル	フルオピコリド・プロバモカルブ塩酸塩水和		べと病	500	300	1月～4月	1	2						2	3,2
殺菌	カーゼートPZ水和剤	シモキサニル・マンゼブ		べと病・白色疫病	1000	300	1月～4月	1	2						3	3,5
殺菌	ブリザード水和剤	シモキサニル・TPN		べと病	1200	300	1月～4月	1	2						3	3,6
殺菌	セイビアフロアブル20	フルジオキソニル		黒腐菌核病・灰色かび病・灰色腐敗病・小菌	00～150	300	1月～4月	1	2						3	4
殺菌	ストロビーフロアブル	クレソキシムメチル		灰色カビ病・灰色腐敗病	00～300	300	1月～4月	1	2						3	3
殺菌	ボルドー	塩基性塩化銅		べと病・軟腐病	00～100	300	1月～4月	-	-						-	-
殺菌	Zボルドー	塩基性硫酸銅		べと病・軟腐病	500	300	1月～4月	-	-						-	-

備考:

上記農薬は、成分カウントで8回以内に抑えるように組合わせて使用します。シモキサニルは3回迄の使用制限がある為、制限を超えないよう使用します。フルオピコリドは2回までの使用制限がある為、制限を超えないよう使用します。

	計画(作業、施肥、防除など)	実績(作業)
1月	防除	
2月	防除	
3月	収穫	
4月	収穫	
5月	収穫	
6月	収穫	
7月	施肥(苗床)	
8月	太陽熱消毒	
9月	播種(苗床)	9/3 播種
10月	施肥(本圃)	
11月	マルチ張り・定植	11/1マルチ 11/3 定植
12月	防除	

播種開始:	平成29年9月6日
終了:	平成29年9月23日
定植開始:	平成29年11月3日
終了:	平成29年12月12日
収穫開始:	平成30年3月23日
終了:	平成30年6月15日